

北方町政策審議会 グループ協議 会議要旨

グループ名	グループ 1	出席委員数	5 / 5 名
日 時	平成 27 年 7 月 24 日（金） 19 時 00 分～ 20 時 45 分		
場 所	第 2 会議室		
【協議事項】（テーマ等） 「高齢者と子どもの暮らしやすさ、住みやすさについて」			
委員意見（順不同） ・ 前回の会議で配られた「地域福祉の現状について」を見ると、具体的に何をやっているのか、読んだだけではよく分からない ・ 見守り活動、老人クラブ、シルバー人材センターなど実施しているが、最近では組織に入る人間が少ない。やっている人も役をやりたくないのも、役がまわってきそうになるとやめてしまう ・ 民生委員さんも色々な仕事があって大変だとは思う ・ 消防団に若い人が全然入ってこない 地域の自治会長さんは毎年団員集めに苦労している なにかいい方法はないか そこまで消防団は必要なのか ・ 消防署は火を消すが、後始末や後方支援などは地元の消防団が行っている また、操法訓練は火災消火を想定した基本操作の訓練であり、いざというときの消火活動に役立つものであり必要な訓練である ・ 子どものころから消防の訓練や活動を見学する機会を増やして頂けるといいのではないかな ・ 今年は生涯学習の方でも、消防団一日体験などを行う ・ 町の広報を見ると色々載っているがあまり隅々まで見ていない ・ ふれあいいきいきサロン、モーニングサロンなど高齢者が地域の身近な公民館や喫茶店に気軽に集まり、交流できる場がたくさんあるとよい ・ 地域デビューのきっかけは、ほかにも見守り活動やスクールガードがある			

- ・ P T A が空き家を利用して、地域の子どもたちを預かって勉強など面倒を見てくれるといい
- ・ まちづくり助成金があり、30万円上限の補助制度があって活用するとよい
- ・ 夏休みに公民館などを利用して、平日の時間に面倒をみる人がいればサマースクールがあると子育て世帯には大変有り難い
- ・ サマースクールでは、ゲームやスマホをしない時間帯をつくり、勉強を教えてもらえるといい
- ・ 退職した教員がサマースクールで指導してもらえるといい
- ・ 子どもは将来の町の宝として、地域で守り育てていけるといいのではない

資料：「校長の四季」

次回のテーマ

「子どもと子育て家庭の暮らしやすさ、住みやすさについて」

一次回開催予定日ー

8/28（金）19：00～ 第2会議室

役場での用意資料：ファミリーサポートセンター、
子ども向けの施策資料

※発言順にこだわらず対応する意見については、まとめて下さい。

発言者名は未記入でお願いします。